

都市再生整備計画

ひぜんかしまえきしゅうへん
肥前鹿島駅周辺地区

(第1回変更)

佐賀県

令和8年2月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input checked="" type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	佐賀県	市町村名	かしまし 鹿島市	地区名	ひぜんかしまえきしおへんちく 肥前鹿島駅周辺地区	面積	34	ha
計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度	交付期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度					

目標
 大目標: スローツーリズムの拠点となるよう、駅周辺地区のまちの価値を体験できる機会を増やすことで、来訪者の回遊性を生み出し、地域の活性化を図る
 目標1: 市民と来訪者が交流できる拠点を整備し、賑わい溢れるまち
 目標2: 居心地の良い空間を創出することで、歩いて楽しむ滞在したくなるまちの実現
 目標3: 日常を通じて多様なアクティビティが生まれる空間の創出

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 ●鹿島市は佐賀県南西部に位置し、江戸時代は鍋島氏の城下町として栄え、明治以降は県南西部地域における政治、経済、文化の中心地として発展してきた。また、東に有明海、西に多良岳山系に囲まれる豊かな自然と、日本三大稲荷の一つである祐徳稲荷神社をはじめとする歴史的な資源に恵まれた地域であり、これまで地域資源を活用して観光を軸に地域の活性化を目指してきた。
 ●昭和30年3月に市制を施行。昭和40年代には、中心市街地に市役所・警察署・県の現地機関等の行政機関や金融機関・娯楽施設などの都市機能が集約していたが、昭和50年代以降は、行政機関の郊外移転、国道207バイパスの開通による沿道サービス型商業施設の立地等の影響で中心市街地の空洞化が進行し、地域コミュニティの拠点としての機能が低下し、まちの活力が低下してきた。
 ●令和2年4月に策定された立地適正化計画に基づき、肥前鹿島駅周辺地区や中心市街地を含む都市機能誘導区域において、各種都市機能の誘導を進めることにより、生活サービス施設などの都市機能の維持・充実を図り、持続可能な都市構造の実現を目指す。

課題
 ・駅周辺地区の賑わいが衰退する中、西九州新幹線開通に合わせた長崎本線の並行在来線化で特急電車本数の激減に伴って、鉄道利用者数も減少傾向にあり、衰退加速、鉄道駅の求心力低下の懸念がある。
 ・事業者、住民共に高齢化している等に起因して、近接する中心市街地においても、空き店舗が増加しており、かつての商業的な賑わいが失われつつある。
 ・中心市街地における公共空間において、有効活用ができていない。
 ・肥前鹿島駅から中心市街地への動線が、駅前の変則交差点の影響などで分かりづらく、中心市街地との連携が取れていない。

将来ビジョン(中長期)
 ①「鹿島市第七次総合計画」(令和5年11月改訂)
 ・目指す都市像として「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」を位置づけ。
 ・「しごと・ものづくり」「ひとづくり」「まちづくり」の好循環を目指す、「みんなですすめるまちづくり」、「災害に強いまちづくり」、「持続可能なまちづくり」の4つの基本的考え方を示す。
 ・都市基盤の施策として、肥前鹿島駅舎及び駅前周辺の整備などを掲げており、利便性の高い交通網を整備し持続可能な公共交通を維持することで住みやすいまちづくりを推進する。
 ②「鹿島都市計画区域マスタープラン」(令和4年3月)
 ・肥前鹿島駅及び鹿島バスセンター発着の公共交通を維持するとともに、中心市街地の活性化を図ることにより、コンパクトで高い生活利便性を提供できるまちを目指す。
 ・肥前鹿島駅周辺の既存商店街を中心とし、商業・業務機能の集積強化を図り、中心市街地の活性化を図る。
 ③「都市計画マスタープラン」(平成28年3月)
 ・本市の将来の都市構造として、肥前鹿島駅前から中心商店街にかけて広がっている範囲を、商業・業務系施設の立地による生活利便性強化を図ることとしている。また、市の玄関口として交流・賑わい機能の強化を図ることも位置づけている。
 ・公共交通機関整備の方針として、市市への通勤・通学や、市内への観光客に対し、駅や施設においてパークアンドライド(公共交通への乗り換え)用の駐車場・駐輪場の整備を図る。
 ④「立地適正化計画」(令和2年3月)
 ・本地区は、交通結節点・公共公益施設が集積しているため、観光・交流を中心とする拠点地域(中心拠点、地域拠点)として位置づけ、生活サービス施設などの都市機能の維持・充実を図り、風情ある歴史的町並みを活用し生活と観光が両立するまちづくりを目指す。

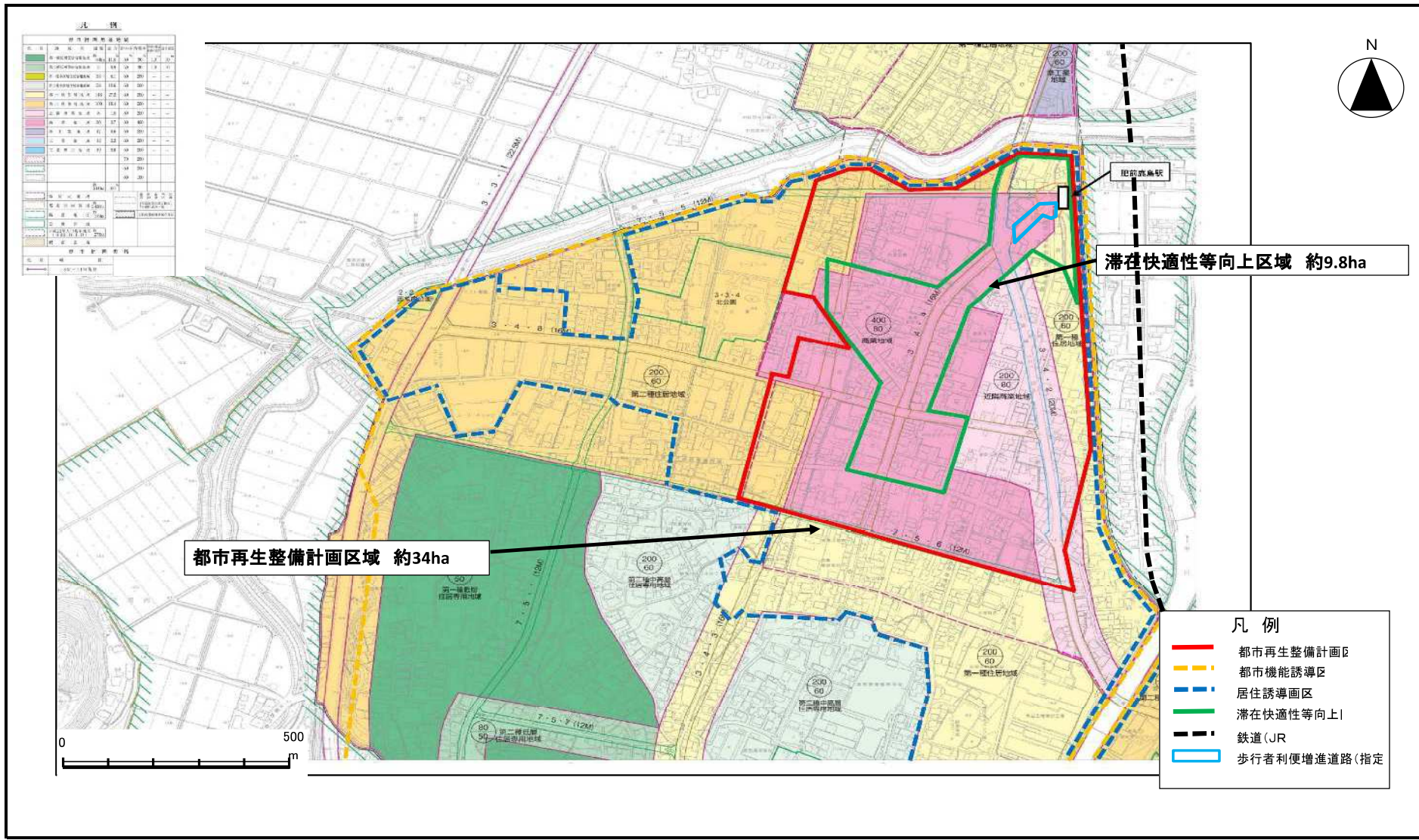
一 体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォークアブル推進事業の計画 ※一 体型滞在快適性等向上事業の場合もしくはまちなかウォークアブル推進事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 滞在快適性等向上区域の考え方
 肥前鹿島駅周辺地区全体の回遊性向上をねらい、公共施設や商業施設を繋ぎ、肥前鹿島駅、スカイロード・さくら通り商店街の沿線道路を中心に区域を設定。区域内において、道路・歩道の高質化や広場整備等の歩きたくなる公共空間の創出に繋げるとともに、行政による滞留空間の設置や、沿道の民間事業者による活動など官民一体となって居心地の良いまちなかを創出する。
 滞在快適性等向上区域での取組み
 県道山浦肥前鹿島停車場線及び市道鹿島駅前線を対象に歩行者利便増進道路(ほこみち)制度の活用を見据えた検討を行う。
 駅前広場の整備とあわせて、歩行者が安全かつ快適に滞在できる道路空間の形成を図り、ベンチ等の滞留施設の設置やイベント等での活用可能性について検討を行う。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	目標値			
				従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩いて楽しいと感じる市民の割合	%	アンケート調査で中心市街地を歩いて楽しいと感じる市民の割合	賑わい空間の創出等により歩いて楽しいと感じる人の割合が増加する	19.7%	R6年度	60%	R11年度
滞在快適性等向上区域内でのイベント活用	%	滞在快適性等向上区域内の公共空間(広場、公園、道路)を活用したイベント等の実績	使いやすい公共空間に改変することで、イベント等の利用が促進される。	3回/年	R6年度	10回/年	R11年度
歩行者通行量	人/日	肥前鹿島駅前周辺2箇所の調査地点での、平日、休日各12時間の歩行者通行量	賑わい空間の創出等により歩行者通行量が増加する	平日 867人/日 休日 663人/日	R6年度	平日 950人/日 休日 730人/日	R11年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【市民と来訪者が交流できる拠点を整備し、賑わい溢れるまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待合の場として、快適な駅舎空間の強化・充実 ・市民と来訪者、双方の交流の場となる心地良く使いやすい駅前空間の創出 ・快適な散策等を支援する広場等の休憩所の機能向上 	<p>【基幹事業】 (ポケットパーク整備:地域生活基盤施設/緑地・広場)</p> <p>【関連事業】 (駅前広場整備:地域生活基盤施設/広場・緑地)</p> <p>【関連事業】 (広場休憩所整備:地域生活基盤施設/広場・緑地)</p> <p>【関連事業】 (ポケットパーク整備:高質空間形成施設/緑化施設等)</p> <p>【関連事業】 (鹿島駅前駐輪場整備/デジタル田園都市国家構想交付金)</p> <p>【関連事業】 (市営駐車場整備/デジタル田園都市国家構想交付金)</p> <p>【関連事業】 (新駅舎整備、復原駅舎整備/デジタル田園都市国家構想交付金)</p>
<p>【市心地の良い空間を創出することで、歩いて楽しみ滞在したくなるまちの実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交錯している公共交通と一般送迎車両の交通整序化 ・歩行者にやさしく、安全安心な道づくり ・車両通行(乗り入れ)を抑制し、道路と広場が一体となった歩行者専用空間を設け、イベント等で賑わいを創出 ・駅前を起点として、中心市街地方面への来訪者の案内を行う。 	<p>【基幹事業】 (街路高質化:高質空間形成施設/緑化施設等)</p> <p>(都)佐賀駅組知線高質化、(都)佐賀駅城内線高質化、(都)井手西葉線歩道高質化</p> <p>【基幹事業】 (街路無電柱化:高質空間形成施設/電線類地下埋設施設)</p> <p>(都)鹿島駅組知線無電柱化、(都)鹿島駅城内線無電柱化</p> <p>【関連事業】 (街路事業:鹿島駅組知線、鹿島駅城内線)</p> <p>【関連事業】 (道路:(都)鹿島駅城内線)</p> <p>【関連事業】 (まちなかサイン整備:地域生活基盤施設/情報板)</p>
<p>【日常を通じて多様なアクティビティが生まれる空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの立ち寄り・滞在拠点(商店やまちやど)の活用と相互連携による回遊性の創出 ・鹿島市の特産品や活動等を総合的にPRする場所づくり ・新規出店しやすい空き店舗等の活用と支援環境の整備 	<p>【提案事業】 (事業活用調査/事業効果分析事業)</p> <p>【関連事業】 (まちづくり活動推進事業/利活用検討事業)</p> <p>【関連事業】 (まちづくり活動推進事業/駅前空間賑わい創出事業)</p> <p>【関連事業】 (まちなかりノベーション工事補助事業/デジタル田園都市国家構想交付金)</p> <p>【関連事業】 (事業活用調査/事業効果分析事業)</p> <p>【関連事業】 (サテライトオフィス整備/デジタル田園都市国家構想交付金)</p> <p>【関連事業】 (かしま暮らし観光まちあるきイベント)</p> <p>【関連事業】 (リノベーションまちづくり等推進事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>本地区では、肥前鹿島駅前広場の整備及び駅前道路の高質化にあわせ、歩行者利便増進道路(ほこみち)制度の活用を見据えた取組みを進める。駅前道路においては、歩行者が滞在・利用できる空間の創出を図り、駅前広場と一体となった人中心の空間形成を目指す。</p>	

肥前鹿島駅周辺地区(佐賀県鹿島市)	面積 34(9.8) ha	区域 鹿島市 大字 高津原 中牟田区、新町区
-------------------	---------------	------------------------



肥前鹿島駅周辺地区(佐賀県) 整備方針概要図(まちなかウォーカブル推進事業)

目標	大目標:スローツーリズムの拠点となるよう、駅周辺地区のまちの価値を体験できる機会を増やすことで、来訪者の回遊性を生み出し、地域の活性化を図る 目標1:市民と来訪者が交流できる拠点を整備し、賑わい溢れるまち 目標2:居心地の良い空間を創出することで、歩いて楽しめ滞在したくなるまちの実現 目標3:日常を通じて多様なアクティビティが生まれる空間の創出	代表的な指標	歩いて楽しいと感じる市民の割合 (%)	19.70% (R6年度)	→	60% (R11年度)
			公共空間でのイベント活用 (回/年)	3回 (R6年度)	→	10回 (R11年度)
			歩行者通行量 (人/日)	平日 867人/日 休日 663人/日 (R6年度)	→	平日 950人/日 休日 730人/日 (R11年度)

